

水産物の市況について(令和元年7月及び令和元年8月)

—東京都中央卸売市場における令和元年7月(令和元年6月21日～令和元年7月20日集計)の市況と、
令和元年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、やや減少したものの、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、まいわし・かつお・するめいか等の入荷が多く、価格を下げた魚種もあったことから、全体では前月並みに推移しました。

II 令和元年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、鮮魚向けとなる大型魚の漁獲が減ってきたことからやや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれるものの、チリ銀の国内搬入量が過去最高水準と多い中、新物の入荷が近いことから、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、減少すると見込まれ、卸売価格は、強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮品の入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。冷凍品の入荷量は、生鮮品の入荷がやや増加することから、やや減少すると見込まれるものの、卸売価格は、冷凍品に対する需要が弱いことから横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、減少が見込まれるものの、卸売価格は、量販店における生鮮品の売れ行きが悪いことから弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含む
11～20	増加(減少)	強(弱)含む
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含む
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	32	1,070	33	1,073	30	1,075
前年	33	1,086	30	1,099	34	1,030

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	276	88	70	70
さけ・ます(平均)	1,072	101	101	114
(ぎんざけ塩蔵品)	1,079	101	107	115
(あきさけ塩蔵品)	801	102	111	146
(ときさけ塩蔵品)	1,504	103	123	143
(べにざけ塩蔵品)	1,337	99	98	115
(さけ類冷凍品)	1,022	101	103	117
さば(生鮮品)	418	100	99	107
するめいか(平均)	498	73	82	92
(生鮮品)	464	72	80	85
(冷凍品)	868	100	106	160
あじ(生鮮品)	588	96	96	96
まぐろ(冷凍品)	1,980	107	98	79
(めばち冷凍品)	1,140	103	92	64
(きはだ冷凍品)	1,133	95	115	121
(くろまぐろ冷凍品)	2,703	105	89	82
(みなみまぐろ冷凍品)	2,045	102	98	95
かつお(生鮮品)	407	73	108	93

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:7月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年~30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612